

社長就任1年目となる2021年の業績は引き続き新型コロナウイルスの影響が色濃く表れまし、一昨年は衛生用品などの特需で売上だった店舗用品事業の売上が、昨年は2桁以上ダウンしました。化粧品・包装資材事業は数パーセントの伸びを見せ、紙製品事業は2桁アップと大きく伸長しました。

販売する企業として、今後も環境に配慮した素材などを開発・上市する責任があると考えております。数年前から取り組んでいるシキマ型オムニチャネル政策の成果が、コロナ禍で営業、店舗が激しかった中、EBCは昨年対比で約4割伸長しています。当社の

お客様へ商品のお届けが可能となります。当社は昨年、初めて中期経営計画を策定しました。26年3月期までの5年間の具体的な目標数値を設定し、さらに事業部門制だった組織体制を支社制に再編しました。お客様にとって最適な購買環境を整える目的で行い

は大きなメリットとなり得、また新たなビジネスの創出にもつながると期待しています。オムニチャネルの成果で顧客の購買情報が蓄積され、これを基にした店舗外商は昨年非常に好調でした。今後はオムニチャネルのさらなる展開、また多くのへ

昨年好評だった、店舗でお客様の相談を受ける駆け込み寺の役割も引き続き担っていく所存です。ウエブなどで広範囲のお客様に商品をお届けすることはもちろん、リアル店舗の強みを生かし、お客様一人ひとりのお話しに真摯に耳を傾けつつお手伝いのできたらと思っています。

中計達成とテーマに対して爾々と

好調のオムニチャネルを活用

近年は環境配慮型商品の反響が大きく、今年4月施行のプラ資源循環促進法に対応する木製および環境に配慮した素材の力トラーの問い合わせが着実に増えております。包装資材を

強みである地道な営業と全国で展開している82の直営店とEC店舗に加えてEBCのインフラ構築により、広範囲のお

ましたが、シキマ100年の歴史の中でも画期的な決断だったと自負しております。11月には環境EBC

ピーユーザー獲得のため、現在45万人の会員数を5年後には100万人とすることを目指します。さらにECサイトの商品点数を、現在の約3万点から5年後には100万点に拡充を図ります。

大きく、少しずつウハウハの蓄積ができていますので、本格的な営業を推し進め、専門知識に基づいた提案を開始していきたいと考えております。今年は中期経営計画で設定した長期ビジョンの「パッケージ」を推進してまいります。



シモジマ 代表取締役社長

笠井 義彦氏

外販の第一歩となりまして。取引先企業にとっても販路の拡大

「オーダ」の普及もヘビユーザーの鍵になると見ています。さらに

お客様に元気を届ける「メールパートナー」を自指す」というテーマに対して僕々と進めてまいります。